

震災遺構 高野会館



南三陸町志津川（旧汐見町）



被災直後の高野会館

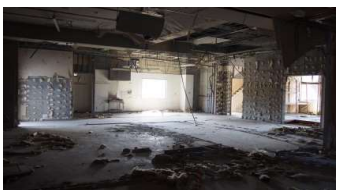
志津川湾から約300メートルの平地に立つ宮城県南三陸町の 総合結婚式場「高野会館」。
昭和61年に建設され、地域の一時避難場所になっていました。

東日本大震災当日は町の高齢者の方々の芸能発表大会が行われていましたが、現場での決断と行動で327名と2匹の犬の尊い命を救った場所になりました。

高野会館スタッフは定期的に避難訓練を実施しており各階には緊急時用の備蓄物資を備えていたことなど、数々の対策や日頃からの防災に対する取り組みと高い意識を持っていたことが功を奏し、その事は非常時における判断と行動にも表れました。



高野会館内部と屋上からの風景 （※平成26年撮影）



当日の様子を伝える河北新報紙面 （2011年6月23日掲載）

高野会館は民間の震災遺構として保存しています。
想定に捉われない判断と最善を尽くした当時の行動を
未来へ語り継いでいくことや、津波の高さや破壊力をも
ものを言わなくても伝えられる建物としての意義を
一人でも多くの方に見ていただきたいと願っております。

（津波の高さを示す表示も見えます）